

2021-2022年度 新中期経営計画

- 「2030年のビジョン」実現に向けた基盤づくり -

ZEON

日本ゼオン株式会社

代表取締役社長 田中 公章

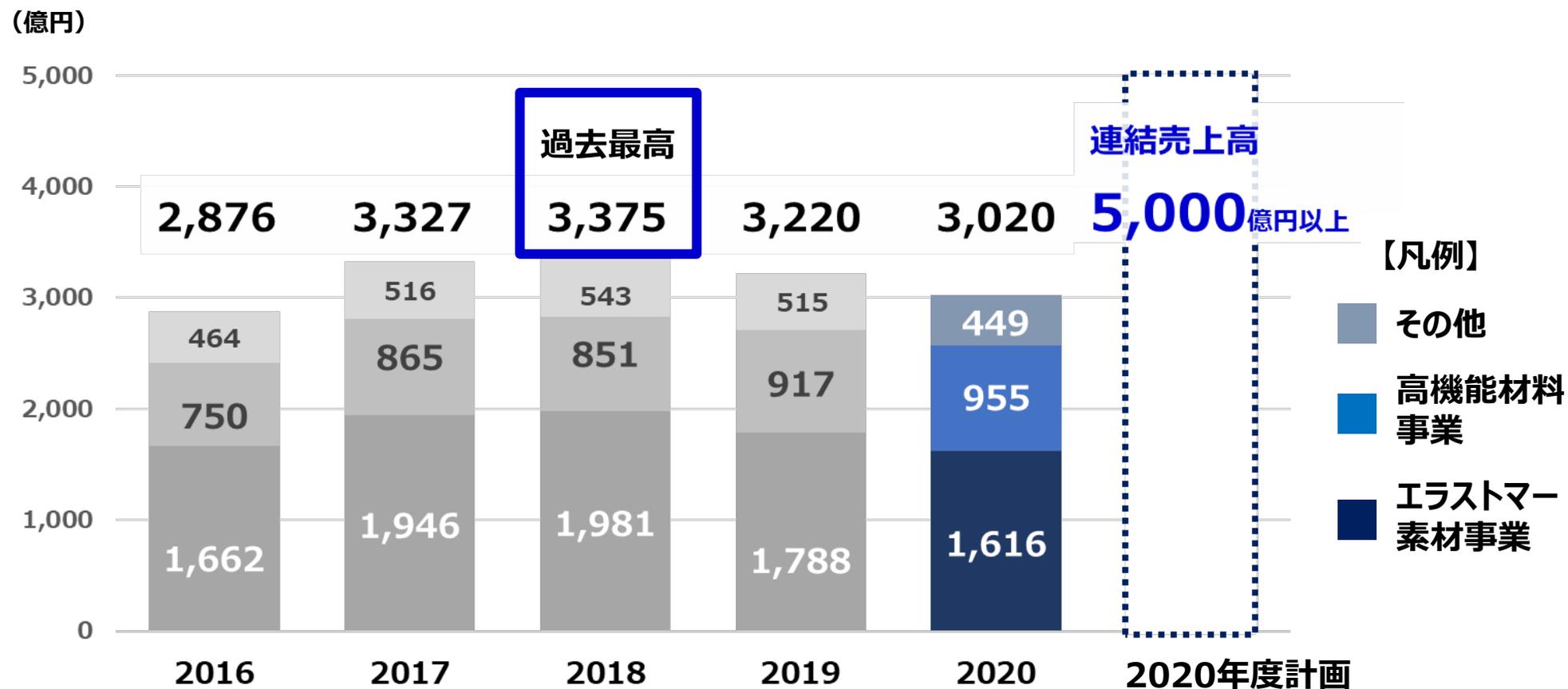
2021年4月28日

- I. SZ-20 PhaseⅢの業績推移**
- II. 新中期経営計画の全体像**
- III. 全社戦略と2030年の目標値**
 - 1. 全社戦略①**
 - 2. 全社戦略②**
 - 3. 全社戦略③**
- IV. 2030年の財務目標 および 株主還元**

連結売上高：「目標 5,000億円以上」は未達

エラストマー素材：米中貿易摩擦・新型コロナ感染拡大による世界経済停滞が影響

高機能材料：光学樹脂・光学フィルム・電池材料が堅調に推移



企業理念 = 使命

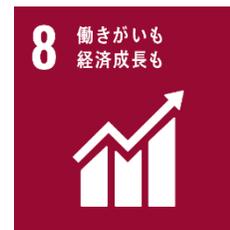
大地の永遠と人類の繁栄に貢献する

大地（ゼオ）と永遠（エオン）からなるゼオンの名にふさわしく、独創的な技術・製品・サービスの提供を通じ、「持続可能な地球」と「安心して快適な人々の暮らし」に貢献する

2030年
のビジョン

社会の期待と社員の意欲に応える会社

当社が
注力する
SDGs



大切に
すること

まずやってみよう

つながろう

磨き上げよう



**「社会の期待」に
応える会社**

2030年
のビジョン

社会の期待に応える

社員の意欲に応える

2030年に
目指す姿
(方向性)

持続可能な社会に
貢献し続ける

社会にとって
なくてはならない
製品・サービスを
提供する

「まずやってみよう」
「つながろう」
「磨き上げよう」
の行動があふれている

全社戦略

1

2

3

2030年に目指す姿 から 3つの全社戦略を立案

全社戦略

要となる方策 (2021-22)

2030年の目標値

1

カーボンニュートラルと
サーキュラーエコノミーを
実現する「ものづくり」
への転換を推進する

2050年を見据えた
カーボンニュートラル
マスタープラン策定

日本化学工業協会の指針等
を踏まえ 今後設定

2

既存事業を
「磨き上げる」

高機能樹脂と
電池材料の強化

SDGs貢献製品の
売上高比率 **50%**

新規事業を
「探索する」

既存SBUの勝ち残り

既存事業
ROIC **9.0%**

重点分野を定めて
リソースを集中投入

新規事業 売上高
+600億円
(2019年度比)

3

「舞台」を全員で創る

より多くの人生の
選択肢を提供

従業員エンゲージメント **75%**
外国人/女性役員比率 **30%**

全社戦略

1

カーボンニュートラルと
サーキュラーエコノミーを
実現する「ものづくり」
への転換を推進する

2

既存事業を
「磨き上げる」

新規事業を
「探索する」

3

「舞台」を全員で創る

要となる方策

2050年を見据えた
カーボンニュートラル
マスタープラン策定

高機能樹脂と
電池材料の強化

既存SBUの勝ち残り

重点分野を定めて
リソースを集中投入

より多くの人生の
選択肢を提供

2030年の目標値

日本化学工業協会の指針等
を踏まえ 今後設定

SDGs貢献製品の
売上高比率50%

既存事業
ROIC 9.0%

新規事業 売上高
+600億円
(2019年度比)

従業員エンゲージメント 75%
外国人/女性役員比率 30%

要となる方策

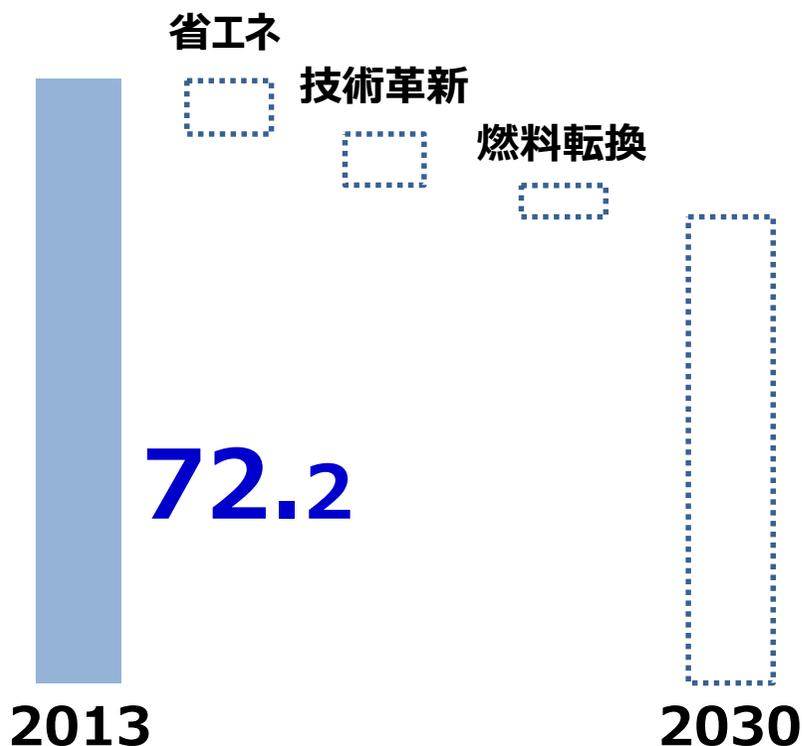
2050年を見据えた
カーボンニュートラル
マスタープラン策定

長期的な「ものづくり」転換に
必要な研究開発・技術革新を
粘り強く実施



CO₂総排出量
(単位：万トン)

Scope1+2
製造に伴う
排出量



取り組み例

バイオマス から
原料ブタジエンを生成



出典：当社プレスリリース
(2021/4/13)

全社戦略

1

カーボンニュートラルと
サーキュラーエコノミーを
実現する「ものづくり」
への転換を推進する

2

既存事業を
「磨き上げる」

新規事業を
「探索する」

3

「舞台」を全員で創る

要となる方策

2050年を見据えた
カーボンニュートラル
マスタープラン確定

高機能樹脂と
電池材料の強化

既存SBUの勝ち残り

重点分野を定めて
リソースを集中投入

より多くの人生の
選択肢を提供

2030年の目標値

日本化学工業協会の指針等
を踏まえ 今後設定

SDGs貢献製品の
売上高比率 **50%**

既存事業
ROIC **9.0%**

新規事業 売上高
+600億円
(2019年度比)

従業員エンゲージメント **75%**
外国人/女性役員比率 **30%**

要となる方策

高機能樹脂の強化



【1】成長市場を牽引する タイムリーな能力増強投資

- 水島工場生産能力増強（2021年7月完工予定）

年間生産量：37,000 トン ▶ 41,600 トン

安全で快適な暮らしを支える用途に展開（例）



【2】レジリエンス強化*

- 新たな生産拠点の検討推進

*災害や事故等により致命的な被害を負わない強さと、速やかに復旧させるしなやかさを強化

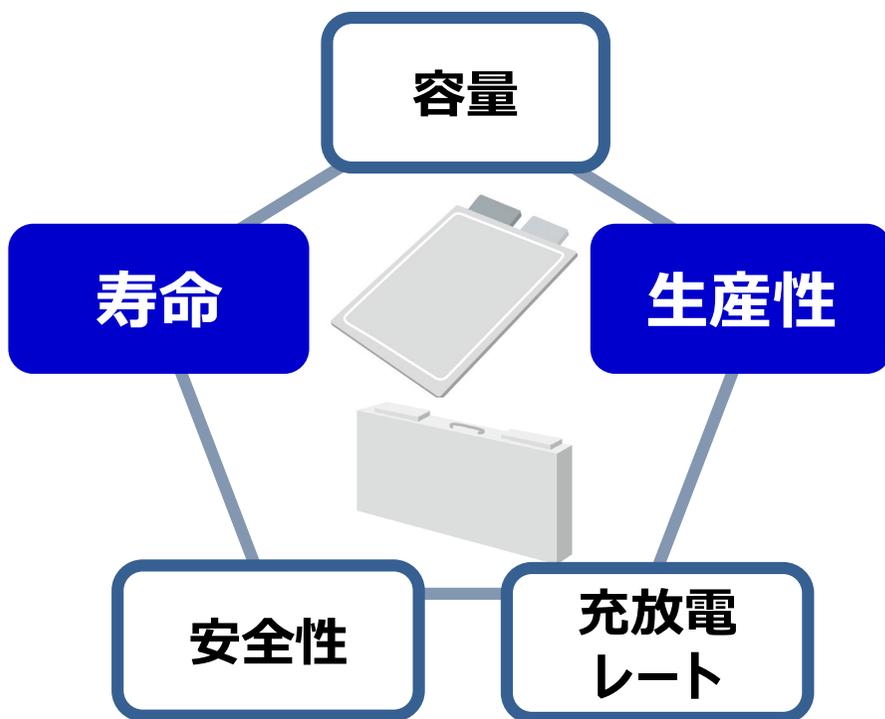
当社 水島工場



要となる方策

電池材料の強化

5大性能向上に貢献する 新製品群を成長市場に投入

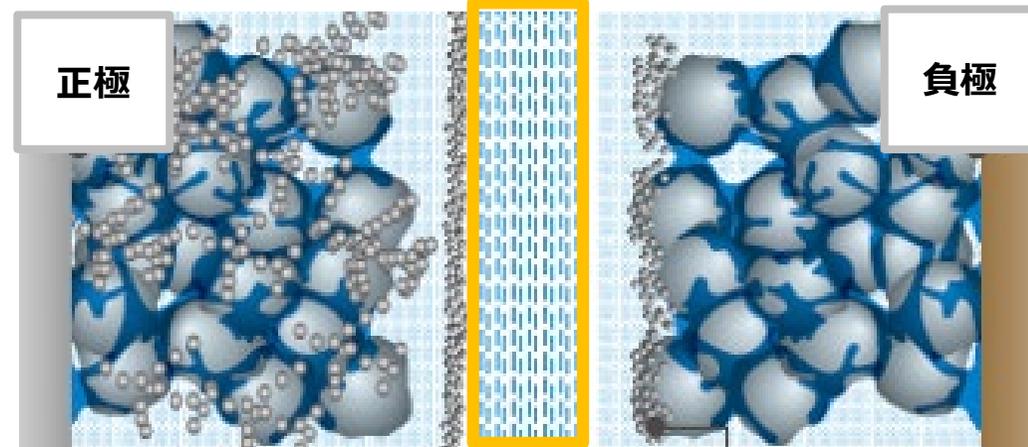


リチウムイオン電池に求められる
5大性能

AFL[®] : セパレータ用接着剤

(2021年2月プレスリリース)

リチウムイオン電池の
長寿命と**高生産性**を実現



要となる方策

既存SBUの勝ち残り

エラストマー

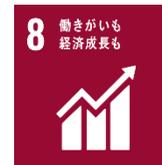
合成ゴム
ラテックス
化成品

- ・ 差別化製品の強化
- ・ 各生産ラインの効率化

高機能材料

化学品
トナー
電子材料
光学フィルム
メディカル

- ・ 強みをもっと強くする
製品開発と能力増強



資源や設備の
利用効率を向上

持続可能性を追求

全社戦略

1

カーボンニュートラルと
サーキュラーエコノミーを
実現する「ものづくり」
への転換を推進する

2

既存事業を
「磨き上げる」

新規事業を
「探索する」

3

「舞台」を全員で創る

要となる方策

2050年を見据えた
カーボンニュートラル
マスタープラン確定

高機能樹脂と
電池材料の強化

既存SBUの勝ち残り

重点分野を定めて
リソースを集中投入

より多くの人生の
選択肢を提供

2030年の目標値

日本化学工業協会の指針等
を踏まえ 今後設定

SDGs貢献製品の
売上高比率 **50%**

既存事業
ROIC **9.0%**

新規事業 売上高
+600億円
(2019年度比)

従業員エンゲージメント **75%**
外国人/女性役員比率 **30%**

要となる方策

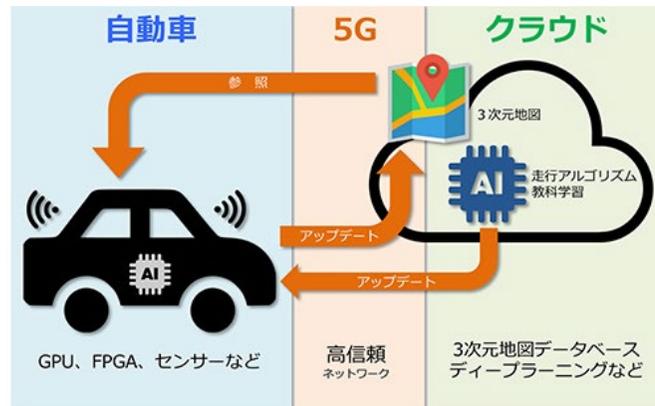
重点分野を定めて
リソースを集中投入

医療・ライフサイエンス



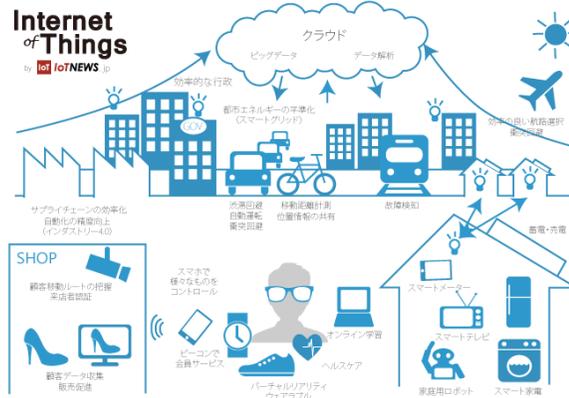
出典：厚生労働省HP

CASE・MaaS



出典：経産省CASE技術戦略プラットフォーム

情報通信 (5G/6G)



出典：IoT NEWS「スマートシティ(Smart City)とは」



省エネルギー



出典：資源エネルギー庁 再生可能エネルギー固定価格買取制度ガイドブック

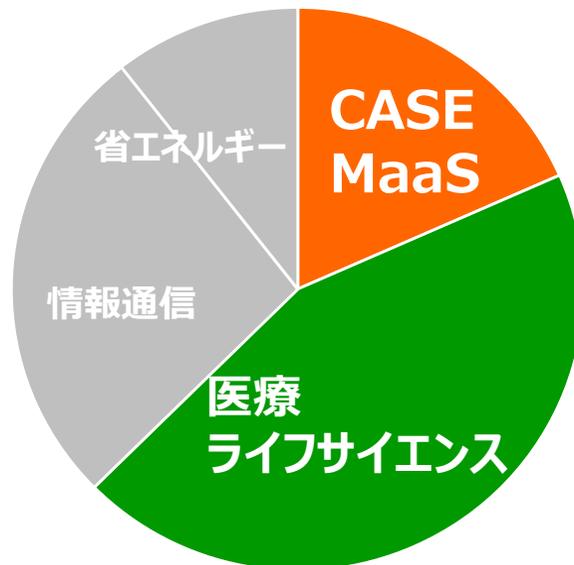
要となる方策

重点分野を定めて
リソースを集中投入

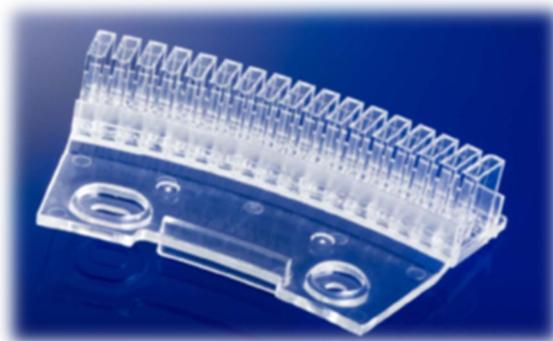
例：COPを用いた
検査分析用途部材
マイクロ流路チップ^o

*COP：シクロオレフィンポリマー

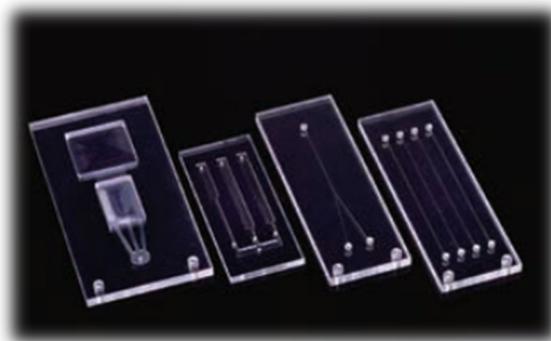
内訳：新規事業 売上高+600億円



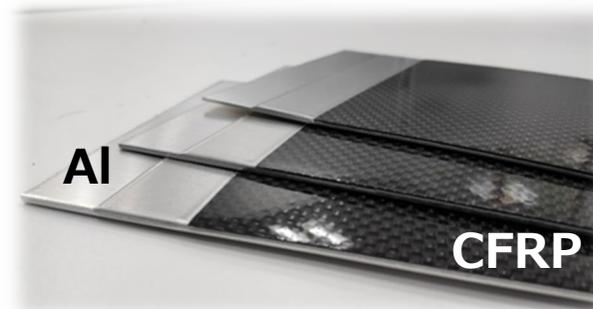
例：自動車マルチマテリアル用
接着剤
(くっ付かない物質同士を接着する
新開発素材)



検査分析用途部材



マイクロ流路チップ^o



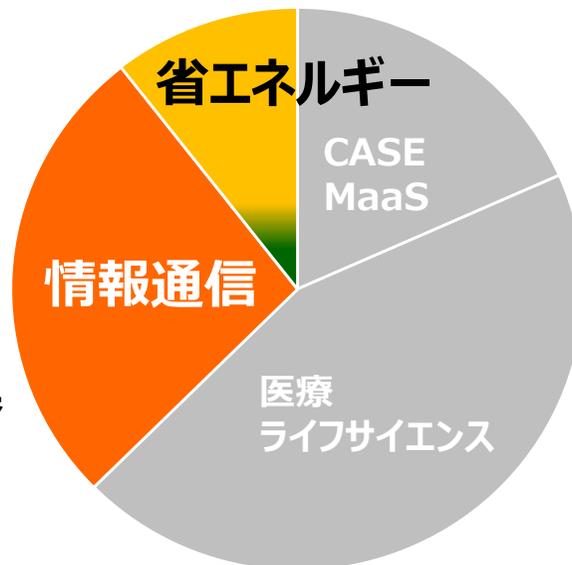
AI

CFRP

要となる方策

重点分野を定めて
リソースを集中投入

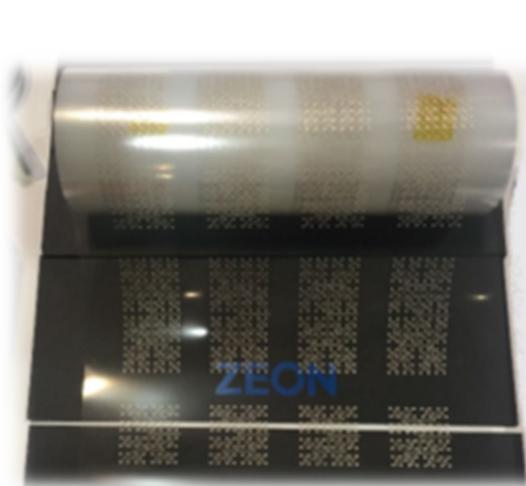
内訳：新規事業 売上高+600億円



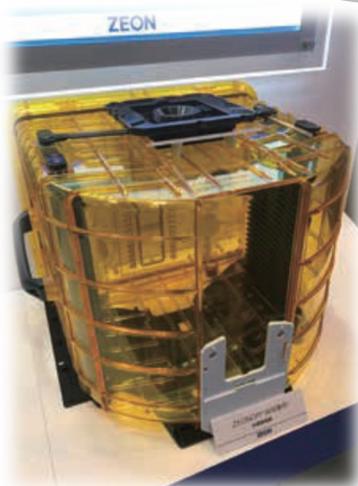
例：新開発耐熱COP*を用いた
フィルム回路基板・半導体容器

例：シート系 熱界面材料TIM
ソーラーカード

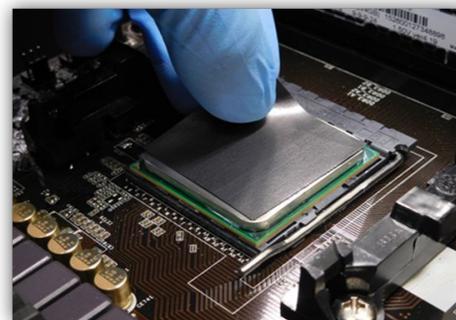
*COP：シクロオレフィンポリマー



フィルム回路基板



半導体容器



TIM



ソーラーカード

全社戦略

要となる方策

2030年の目標値

顧客価値創造に向けた
デジタル基盤の整備

2

既存事業を
「磨き上げる」

新規事業を
「探索する」

高機能樹脂と
電池材料の強化

既存SBUの勝ち残り

重点分野を定めて
リソースを集中投入

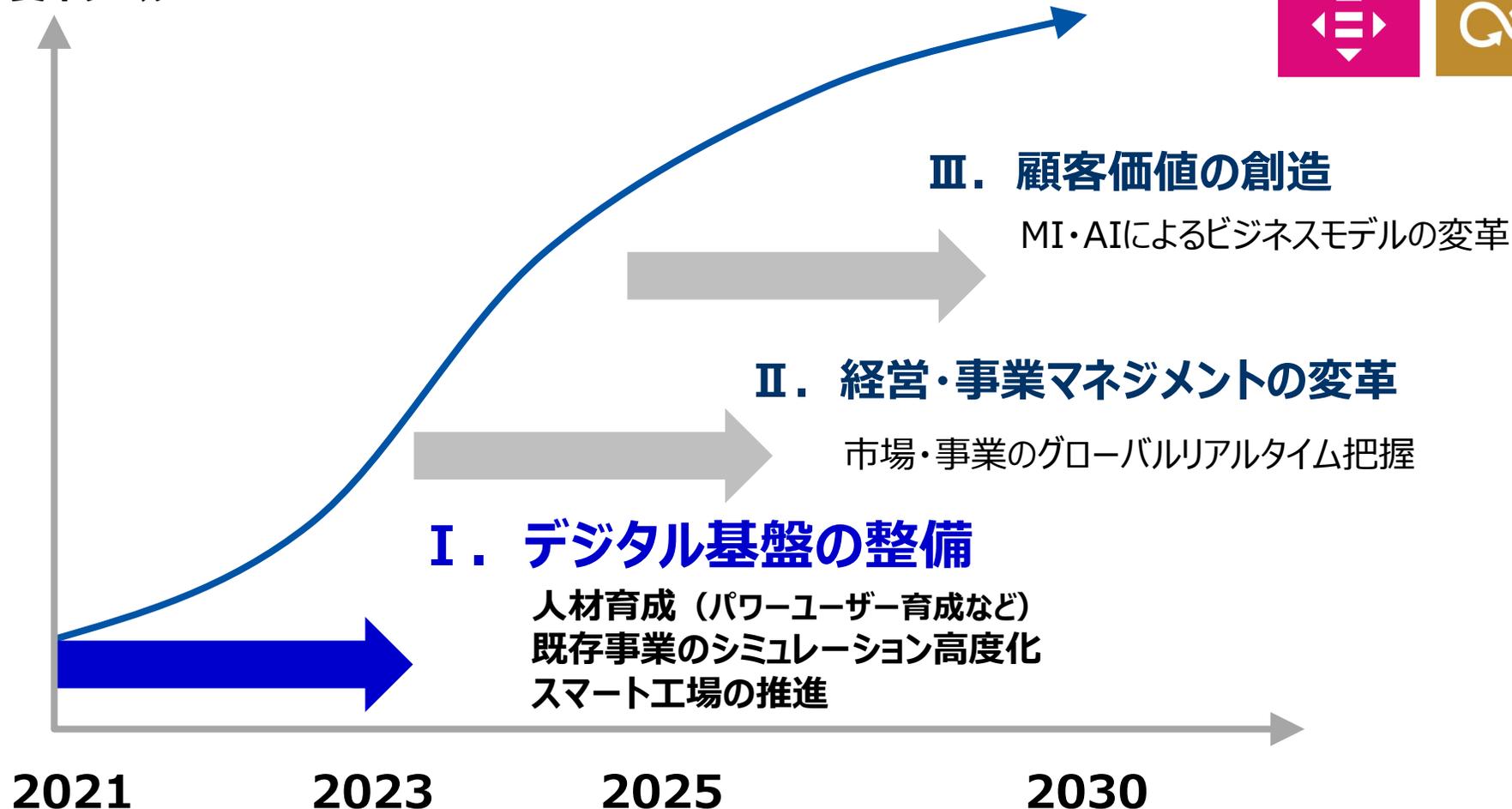
SDGs貢献製品の
売上高比率 **50%**

既存事業
ROIC **9.0%**

新規事業 売上高
+600億円
(2019年度比)

顧客価値の創造：DX（デジタルトランスフォーメーション）の実現を目指し デジタル基盤の整備に注力

変革レベル



全社戦略

1

カーボンニュートラルと
サーキュラーエコノミーを
実現する「ものづくり」
への転換を推進する

2

既存事業を
「磨き上げる」

新規事業を
「探索する」

3

「舞台」を全員で創る

要となる方策

2050年を見据えた
カーボンニュートラル
マスタープラン確定

COP/エナジー材料
の強化

既存SBUの勝ち残り
を賭けた挑戦

重点分野を定めて
リソースを集中投入

より多くの人生の
選択肢を提供

2030年の目標値

日本化学工業協会の指針等
を踏まえ 今後設定

SDGs貢献製品の
売上高比率 **50%**

既存事業
ROIC **9.0%**以上

新規事業 売上高
600億円
(2019年度からの増分)

従業員エンゲージメント **75%**
外国人/女性役員比率 **30%**

要となる方策

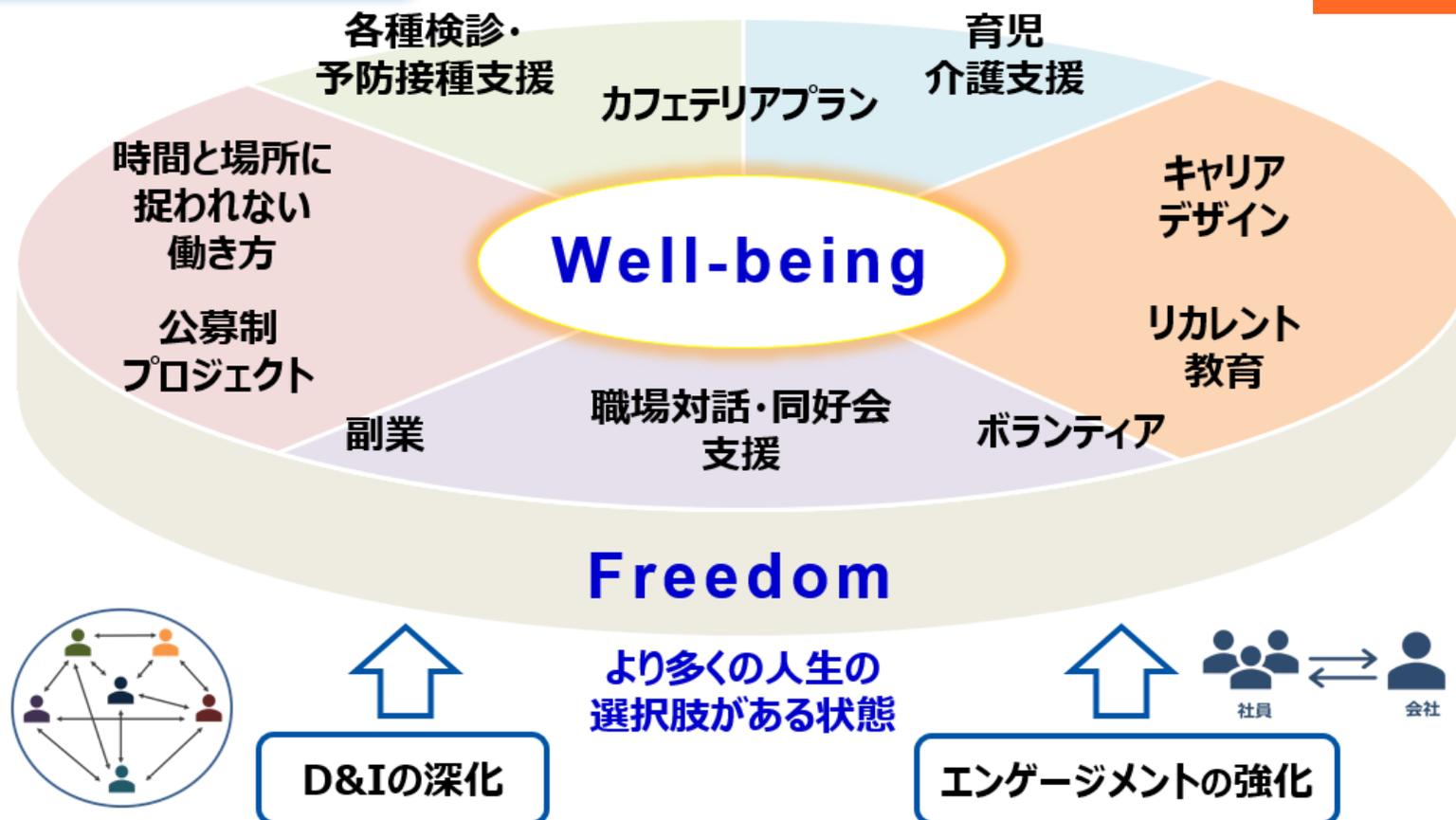
より多くの人生の
選択肢を提供する

2030年の目標値

従業員エンゲージメント **75%**
外国人/女性役員比率* **30%**



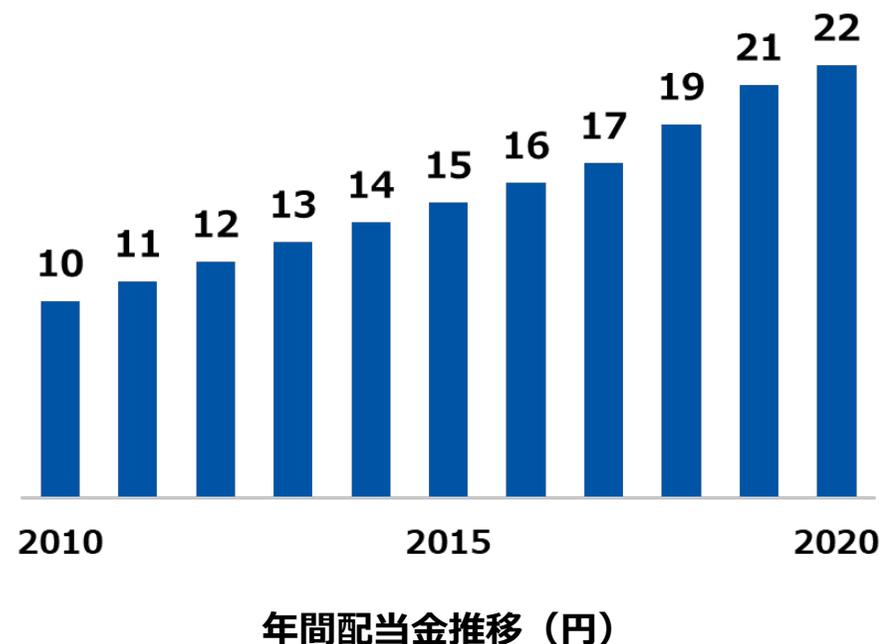
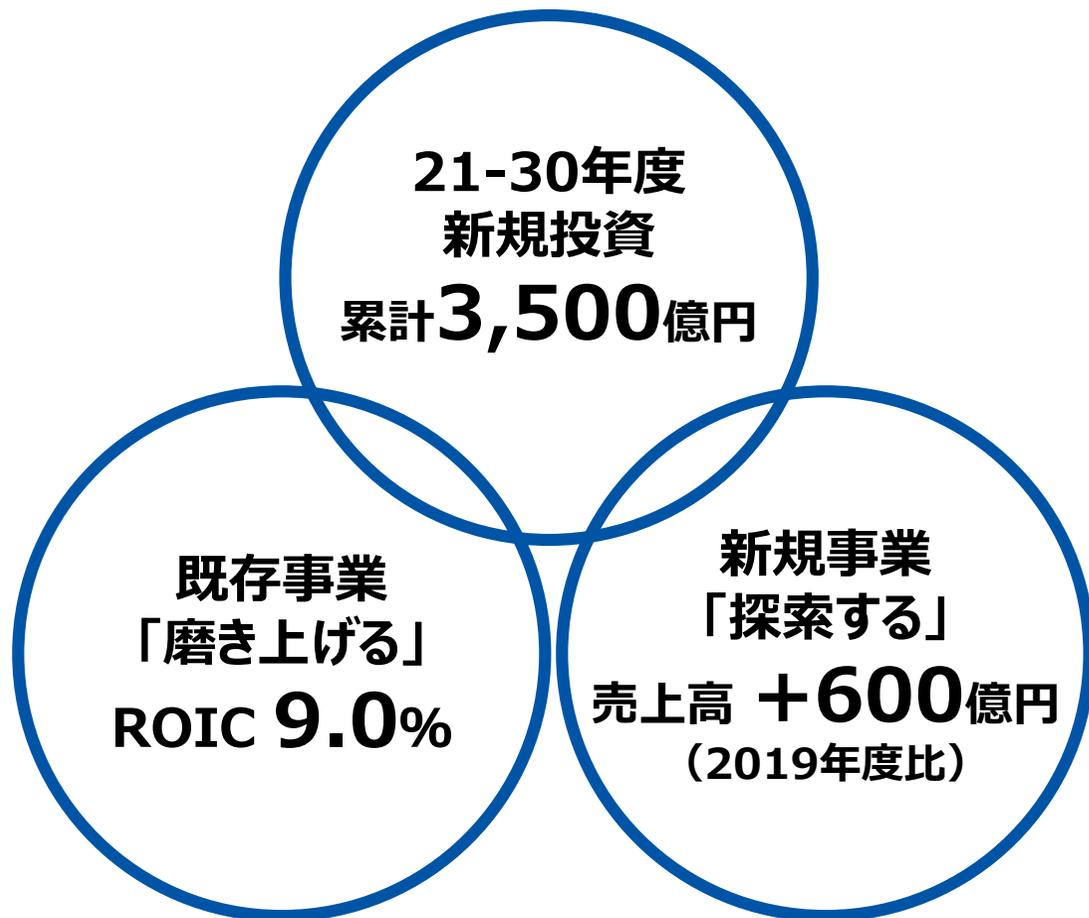
*取締役と監査役で
社内外を問わない



新規投資による事業拡大と 資本効率向上を両立



継続的・安定的に 株主還元



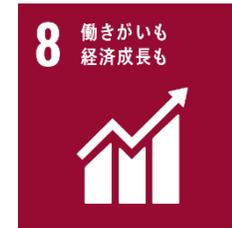
企業理念 = 使命 **大地の永遠と人類の繁栄に貢献する**

大地（ゼオ）と永遠（エオン）からなるゼオンの名にふさわしく、独創的な技術・製品・サービスの提供を通じ、「持続可能な地球」と「安心して快適な人々の暮らし」に貢献する

2030年
のビジョン

社会の期待と社員の意欲に応える会社

当社が
注力する
SDGs



大切に
すること

まずやってみよう

つながろう

磨き上げよう

以上

本資料に掲載されている当社の計画、見通しなどは現在入手可能な情報に基づき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は様々な要因により、異なる結果となる場合があります。

ZEON

日本ゼオン株式会社 CSR統括部門 広報室
東京都千代田区丸の内1-6-2 新丸の内センタービル
Tel:03-3216-2747, Fax:03-3216-0501